



歌で広がる国際交流の輪!文化を感じる、歌の祭典が宗像に!

## 「2026 宗像世界のど自慢大会」

宗像市では、外国人住民の増加により、地域における多文化共生の重要性が高まる中、言葉や文化の違いを越えた交流機会の創出が求められています。

こうした背景を受け、30年以上にわたり地域の国際交流を支えてきた宗像地域国際交流連絡協議会が、音楽という共通言語を通じて相互理解を深める「2026むなかた世界のど自慢大会」を5月2日(土)、サンリブくりえいと宗像で開催します。

本大会は市内外から募集する出場者が第一言語以外の歌を披露し、多様性を尊重する地域づくりにつなげます。観覧無料で誰でも参加でき、市民と外国人住民が交わる“画になる”交流の場となります。



《昨年の様子》

### 【2026 むなかた世界のど自慢大会 概要】

日時：5月2日(土) 14:00~16:00

場所：サンリブくりえいと宗像・1階催事場(宗像市くりえいと1丁目5-1)

MC：KBCアナウンサー 長岡 大雅 氏、むなかた応援大使 クレシーニ アン 氏

内容：出場者11組(市内外から募集)による第一言語以外の歌唱、

審査及び表彰、多国籍な飲食店ブース(予定)

参加費：出場・観覧無料 ※出場申込は、3月31日(火)まで。

### 【背景】

厚生労働省では、令和9年度から育成就労制度を始めます。また、本市の外国人住民数が1,180人と前年比21%増加しており、多文化共生社会に対する理解が求められます。

宗像地域国際交流連絡協議会では、これまで「留学生歓迎式典」や「着付け・茶道体験」など様々な活動に取り組んできました。昨年開催した「のど自慢大会」はとくに地域住民と外国人の国際交流が盛んに行われ、一体となって盛り上がったイベントです。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市地域教育連携室 担当：島田 TEL：0940-36-1169